平成２５年度　事業報告書

平成２５年４月１日から２６年３月３１日まで

特定非営利活動法人 故郷まちづくりナイン・タウン

１．総括的概要

平成２５年度の本会活動地域を取り巻く社会情勢は、なによりも震災復興というテーマが念頭にあり、どのような活動の局面であってもその影響を受けている環境下にあります。

さらに人口減少、少子高齢社会の進展など既存の地域課題はその深刻さを増している状況にあります。

そのような中、本年度基本方針である南三陸地域の住民が自らの力を発揮して仲間づくりを進め、コミュニティ施設としてのみなさん館や味噌工房を活用して、自立型のまちづくりができるように継続した活動を展開すると言う点に関して、みなさん館の運営については昨年度末の３月までの経営状況は極めて厳しい状況にあり、６月までは単月赤字が６８万円あったものを、７月以降は単月１万円の黒字化に改善するなど、一時はキャッシュフローが底をつきそうなほど悪化した経営を、自立経営できるような足掛かりをつくることができたことは大いに自己評価できる。

そのために取り組んだ２０項目に及ぶ具体的な販促活動や改善計画は今後の事業展開にも糧となるものである。

さらに、スタッフ一丸となって販売促進のためのチラシ作製やカタログ作成、商品開発から看板作製、イベント企画・従事に加えて、配食事業を地域ボランティアの参加の基に「なでしこの会」との協力で実行するなど多岐にわたる支援活動を行ってきたことも功を奏したと考える。

また、年度末まで取り組んできた復興支援情報紙「桜通信」は震災直後の２０１１年５月７日を第１号として、本年３月１５日の第８４号まで２年１０か月にわたって継続できたことは、歌津地区を中心として町民の話題を聴き取り、記事として発信するだけではなく、通信に載せていただきたいとの申し出でもあるなど、情報受発信機能を遺憾なく発揮したことは多くの読者に安らぎと希望を創り出したものと評価できる。

一方で本会の組織基盤を強化するための取り組みも展開しており、職員のスキルアップについては、主にＯＪＴ活動を活かしてＰＣスキルアップや企画実践力の向上を図るほか、外部研修への派遣や外部講師を招聘して学びの場を設けるなどした結果、全てのスタッフにスキルアップが見られるようになった。特にプロジェクトにおける企画、調整、実践、報告までの一連の業務に関してほとんどのスタッフが一人で仕上げられるようになったことは大きな進歩である。また、新規採用も進み入れ替わりはあるものの年度末では５名のスタッフが在籍していることも充実化した結果である。

更に課題解決を図りながら地域と一体となった事業としては、星空観察会が特徴的であり、初回の反省点を改善して学校との協働を基本に多くのボランティアスタッフの参加を得ながら実施した２回目では、準備から従事する機会をつくることで事業推進がスムーズに行えるとともに、事業に深みが増すなどの相乗効果が得られたことは今後のプログラムを実施する上で大いに参考とすべき取り組みである。

また、事業広報などに活用するＷＥＢサイトに関しては、本会スタッフが自ら更新し、みなさ

ん館のＨＰも更新できるように向上できた。

このような活動の結果、外部の関係機関等から事業への依頼も増え、石越小学校の授業での環境学習活動や、地域コミュニティから地域づくり計画作成の依頼が来るなど、本会の存在価値も向上してきていると評価できる。

しかしながら、自己財源確保策の一つとして取り組んだ会員増強活動は数名の増加にとどまっており、当初目標の１００名には至っていない点は、次年度のプログラムを検討する際には必ず付帯して、募集活動を展開することが課題として残った。

また、今後の運営リーダーとして期待してきたスタッフが、年度末で退職したことに関しては、日本ＮＰＯセンターなどから２年間に渡り継続的に資金面の支援をいただいたことに加えて、人的支援や研修会への参加などで手厚い支援をいただいておりながら、退職に至ったことは団体としての人材育成力の弱さだと反省して、次年度改善の糧とします。

財務会計の基盤強化を目指して取り組みを行ってきた結果、財務面では事業収益に向上は見られるものの、未だに補助金依存は改善されておらず、具体的な計画を再検討する必要がある。

一方で会計処理に関しては、担当者の努力もあり改善が進んできているものの、決裁処理の遅れや過密な事業展開によって処理遅れを出してしまったことは反省して次年度の取り組み改善を行う。

２．事項別状況

（１）登記内容の変更等

無し

（２）定款等の変更

①定款（本文並びに附則の変更はありません。）

②規程・規約等

・旅費規程（変更ありません）

他に設置、変更ともにありません。

③事務委託契約など諸契約

１）夢未来南三陸協議会との業務委託契約締結（事業コンサル２種類）

２）みなさん館地主との事務所土地賃貸借契約締結（建物含む、１年更新）

３）公益社団法人アジア協会アジア友の会との業務委託契約締結

（補助事業コンサル等）

４）株式会社ヤマサとの事務機器保守契約締結（コピー・プリンタ）

５）上沼コミュニティ運営協議会との業務委託契約締結（事業完了）

６）米川地域振興会との業務委託契約締結（事業完了）

（３）会員の状況

		正会員数	賛助会員数	備考
平成２４年４月１日現在		１３名	０名	
年度内の異動	加入者数	３名	２名	
	退会者数	０	０名	
平成２５年３月３１日現在		１６名	２名	

（４）役員の状況

理 事 長　小野寺　　敏
副理事長　鈴　木　　武　彦
専務理事　伊　藤　　寿　郎
監　　事　石　川　　恵一郎
（平成２５年４月２７日開催第４期通常総会にて就任可決）
理　　事　佐々木　　和　義
（平成２５年４月２７日開催第４期通常総会にて辞任可決）
監　　事　堀　内　　重　昭
（平成２５年４月２７日開催第４期通常総会にて辞任可決）

（５）会議の開催状況

①通常社員総会

開催日時　　平成２５年４月２７日（土）　午後６時から午後８時まで
開催場所　　本会事務所会議室にて
総社員数　１０名
出席社員数　５名
議案　第１号議案　理事の就任について（原案承認）
第２号議案　入会金及び会費額の改訂について（原案承認）
第３号議案　平成２４年度事業報告について（原案承認）
第４号議案　平成２５年度事業計画（案）について（原案承認）
第５号議案　事務局の組織及び運営について（原案承認）

②理事会

１）第１回理事会

日　時　平成２５年４月３日（水）　午前１０時から正午まで
場　所　本会会議室
出席理事　３名
議　案 第１号議案　平成２４年度事業の総括的概要について（原案承認）
第２号議案　平成２４年度収支決算の見込みについて（原案承認）
第３号議案　平成２５年度事業の基本方針について（原案承認）
第４号議案　平成２５年度収支予算の概略について（原案承認）
第５号議案　スタッフの雇用について（原案承認）
第６号議案　会員増強策の具体的行動計画について（原案承認）
第７号議案　自主財源確保策の方針検討について（原案承認）
第８号議案　当面の資金繰りに関して（原案承認）
第９号議案　通常総会開催について（原案承認）

２）第２回理事会

日　時　平成２５年４月１９日（金）　午後７時から午後９時まで
場　所　本会会議室

出席理事　３名

議　案 第１号議案　平成２５年度通常総会について（原案承認）

第２号議案　スタッフの職務分担並びに新規スタッフの雇用について（原案承認）

第３号議案　会員増強策の具体的行動計画について（原案承認）

第４号議案　自主財源確保策の方針検討について（原案承認）

第５号議案　当面の資金繰りに関して（原案承認）

３）第３回理事会

日　時　平成２５年９月２日（月）　午後４時から午後６時まで

場　所　本会会議室

出席理事　３名

議　案 第１号議案　４月から８月までの事業推進状況について（原案承認）

第２号議案　９月から１２月までの事業計画について（原案承認）

第３号議案　期間決定に関する意思決定方式の確認と仕組み構築（原案承認）

第４号議案　スタッフ・役員スキルアップセミナー（原案承認）

第５号議案　地域づくりを支える「登米人セミナー」の実施について

第６号議案　役員とのパワーランチ開催について

第７号議案　人材採用計画、財務基盤の強化策について

４）第４回理事会

日　時　平成２５年１２月２１日（土）　午後４時から午後７時まで

場　所　本会会議室

出席理事　３名

議　案 第１号議案　９月から１２月までの事業推進状況について（原案承認）

第２号議案　１月から３月までの事業計画について

第３号議案　平成２６年度事業方針について

第４号議案　パワーランチ開催について

第５号議案　組織基盤、財務基盤の強化策について(原案承認)

５）第５回理事会

日　時　平成２６年２月２４日（月）　午後６時３０分から午後９時まで

場　所　本会会議室

出席理事　３名

議　案 第１号議案　平成２５年度事業の進捗状況について（原案承認）

第２号議案　平成２６年度事業骨子・基本方針・重点事項について

③監査会

日　時　平成２５年５月２８日（火）　午後５時から午後６時まで

場　所　本会会議室

立会い者　理事長　小野寺　敏　副理事長　鈴木武彦　専務理事　伊藤寿郎

監査者　　監事　石川恵一郎

監査内容

平成２５年度特定非営利活動に関する事業並びに一般会計に関する事項

平成２５年度特定補助事業に関する事業並びに特別会計に関する事業

監査結果　良好である

３．具体的事業ごとの総括

（1）特定非営利活動に係る事業

重点事項第１

地域づくり活動「登米地域まちづくり支援：防災マップ、地域づくり計画策定支援、各種コラボ事業、人口増加策の施策立案と実行」

まちづくり計画策定事業のコンサルティングを上沼、米川の２地区で実施した。

運営方法や資料のまとめ作業などで苦労があったものの、地域の合意形成や自立に向けての基礎作りに加え、今後５年間の行動計画を作ることができたことは、従事した住民からの評価とともに、高く自己評価できる結果となった。

更に、ワークショップ開催の折には行政との連携も強くしながら住民の課題解決を中心に取り組んだ、

実施計画及び成果目標	実施結果【成果】
「まちづくり計画策定支援」 登米市内のコミュニティ運営協議を対象に、地域づくり計画策定の際のアドバイスや運営支援を行う。 【成果目標】 登米市内　1会場 40 名 3 団体＝120 名　　報告書作成	実施対象 ①米川地域、（委員２５名）委員会４回 ②上沼地域、（委員３８名）策定委員会３回、全世帯アンケート１回、作業部会７回、先進地視察２カ所。【２団体、計６３名。】 【ワークショップにより課題出しができた。多くの気づきが得られた。２カ所ともに計画書を作成することができた。】
「防災ﾜｰｸｼｮｯﾌﾟ事業」 防災マップ作成のお手伝いや、作成作業による地域の魅力発見を支援する。 【成果目標】 登米市内　1会場 40 名　3 団体＝120 名	実施せず 【成果】 なし
「まちづくり環境活動」 花いっぱい事業や道路清掃活動、地域の自然資源を活かした学校や住民との協働事業を企画運営することで、地域のコミュニティの充実化を図る。 【成果目標】 登米市内 3 事業　1 事業 40 名＝120 名	・お濠ビオトーププロジェクト ７月１８日（木）４０名 ＥＭ団子作成・投入、草刈、ゴミ拾い ・道路環境整備事業（グリーンロード） ７月１４日、上沼地区２０名　計６０名 【参加者どうしの顔が見える活動で、コミュニケーションが図れた】

「地域協働事業」 星空観察会や講演会を通じて、地域の自然環境の再発見や、地球環境と身近な日常生活の関連性などを学ぶ場とする。 【成果目標】 登米市内　2 事業 1 事業 70 名＝140 名	・星空観察会 ①１０月１２日　上沼４９名 ②　２月１４日　石森２８名 他にスタッフ・ボランティア２１名、計４９名 ・移動教室（水質環境について）（石越小学校） ３０名 【計３事業　　参加者計７９名】 【ボランティア参画により、事業運営や準備がスムーズにできた】

２、復興まちづくり支援事業「みなさん館支援、地域住民の生活支援、事業コンサル」

みなさん館の運営支援に関しては、７月以降の下半期の経営改善効果が大きく表れており、定期的、継続的な支援策が功を奏したと言える。

また、支援団体等の協力による販売促進やＰＲ活動の実施効果も表れている。

さらに、地域住民支援として取り組んでいる「桜通信」や「配食事業」ともにその目的を果たしており、特徴的な効果を生み出している。

事業コンサルは３か所の事業所に携わることができた。

実施計画及び成果目標	実施結果【成果】
みなさん館運営支援事業 販路拡大、みなさん館 PR の支援 【成果目標】 出品者のうち 30 名	定期イベント「青空市」開催・中元、贈答用カタログ作成３回・イベントチラシ作成４回・みなさん館便り作成支援・販売スタッフ常駐支援（６月～９月）・アンテナショップ実施・直売イベント参加３回・eco プロ受賞・新メニュー開発・ＮＰＯ法人登録処理・経営改善実施（下半期月次売上４０％アップ、黒字化達成）・ＷＥＢサイト開設運営支援・事務処理支援。 【販促活動、経営改善効果があって年間３，４００万円の売り上げにより、出品者全員に効果が出た】
地域情報紙の発行継続 震災のあった年の５月より発行を開始した「桜通信」の継続発行。隔週土曜日７００部。A3 シロクロ両面 【成果目標】 南三陸町民 700 名他、インターネット利用者	桜通信、毎月２回１，０００部発行。バックナンバーＷＥＢサイト掲載 【1 年間で 24 回、各 1,000 部、計 24,000 部を発行。南三陸町内 53 ケ所に配布、掲示、回覧し、地域の身近な情報を伝えることにより、コミュニティの充実化に貢献した。更にバックナンバーの掲載により、現地情報の受発信に貢献した。】
事業コンサルティング 被災地域で、各種助成金申請業務にかかわる申請書類等の作成を支援する。 【成果目標】 ３事業所	【みなさん館、橋本水産、椎彩杜の３事業所の各種補助金書類作成や関連書類の作成支援・相談支援（雇用調整助成金・起業支援助成金関係）】

３、地域資源活用事業「新商品開発、企画プランニング、ツーリズム」

みなさん館の販促企画プランニング、新商品開発、ツアー受け入れなども活発に展開し、みなさん館の商品開発や被災地域での農漁業作業支援や学びのツアーへの参加も増加している。

実施計画及び成果目標	実施結果【成果】
新商品開発事業 地域にある素材を活かした商品化･ブランド化をすすめる 【成果目標】20 種類開発	みなさん館　　３種類（海産物加工品） なでしこの会　６種類（新ﾒﾆｭｰ開発） 味噌工房　　２種類（まんじゅう・漬物） 【計１１種類開発】 配食事業６月～３月まで 【2,486 食配付。地域ボランティアとの連携】
ツーリズム事業 防災･減災の学びツアーやグリーンツーリズム等の受け入れを調整することで地域間交流を促し、交流人口増加を図りながら活性化を支援する。 【成果目標】年間 10 回×20 名=200 名	①6/22-23.(5) ②9/14-15.(6) ③9/15.(15) ④10/5-6.(8) ⑤10/12-13.(4) ⑥11/16-17.(1) ⑦12/14-15.(18) ⑧1/25-26(6) ⑨3/8-9.(5) 【計９回６８名】 受け入れ対応や語り部として対応

４、広報事業「スタッフの人材育成並びにボランティア募集と活用」

情報発信の重要性を考えて、ホームページの充実化のためのスタッフ募集と育成を進めたところ、ＰＣスキルの高いスタッフを採用することができた。

あわせて、プログラム実施時はボランティア募集を行って、４５名登録ができた。

実施計画及び成果目標	実施結果【成果】
組織基盤強化事業 現地ＮＰＯ応援基金を活用して人材基盤を強化する スタッフの人材育成並びにボランティア募集と活用 （ＰＣスキルアップ、デザイン力アップ、ファシリテーション力アップ) 【成果目標】 スタッフ・ボランティア 70 名	スタッフスキルアップ 【ＮＰＯ会計勉強、実践】 【デザイン力アップ、ファシリテーション力アップはＯＪＴにて対応】 【デザイン研修、販売促進研修は外部勉強会に派遣】 ボランティア育成 【ボランティア育成経験のある専門家を招へいして講座開設】 【プログラムごとに募集し約８０名の参加を得た】

５、本会組織基盤と財務力強化の推進「情報公開とＰＲ活動の充実」

現地ＮＰＯ応援基金により組織基盤強化に取り組み、人材育成においては当初の目的を達成し、財務力強化の点では自己資金力がまだ強まってはいないことから、更なる理解者を得るためにも効果的な情報公開とＰＲ活動の充実が更に求められる。

実施計画及び成果目標	実施結果【成果】
組織基盤強化事業 現地ＮＰＯ応援基金を活用して財務基盤を強化	新規採用　６名 年度内退職者　３名

する スタッフ　６名	【年度末雇用者数　４名】 【(次年度当初従事者数７名)】 収益事業の取り組みにより若干は自己資金が増加したが､会員増加による固定的な収入源確保は達成していない。
情報対策・組織強化 人材を集めるため､正確な情報をリアルタイムで公開する。正しく大量に出せる方法も検討する。活動も公開を前提とした報告作りとする。 スタッフ　６名	情報公開としては、総会資料のサイトアップ。 団体ＰＲはリーフレット､ハウスカード､名刺などで実施 事業活動のリアル情報はＷＥＢサイトを活用しフェイスブックやツイッターにて情報アップしている。【ボランティアスタッフ協力】

（2）その他の事業

特になし